

平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

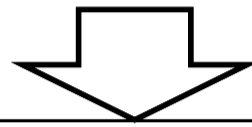
事業名	長期療養者就職支援対策費			担当部局庁	職業安定局	作成責任者		
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	首席職業指導官室	首席職業指導官 浅野 浩美		
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定			政策・施策名	IV-1-1:公共職業安定機関等における需給調整機能の強化及び労働者派遣事業等の適正な運営を確保すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号			関係する計画、通知等	がん対策推進基本計画(平成24年6月8日閣議決定)			
主要政策・施策				主要経費	社会保障			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ハローワークががん診療連携拠点病院等の相談支援センターと連携し、離職を余儀なくされた長期療養者等に対する就職支援のモデル事業を実施し、がん患者等の就職の実現を目指すとともに、就職支援に関するノウハウ・知見の蓄積を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	ハローワークに就職支援ナビゲーターを配置し、がん診療連携拠点病院等との連携のもと、以下の業務を実施する。 1 個々の長期療養者の希望や治療状況等を踏まえた職業相談、職業紹介 2 長期療養者の希望する労働条件に応じた求人の開拓、求人条件の緩和指導 3 長期療養者の就職後の職場定着の支援 4 がん診療連携拠点病院等への出張相談、労働市場・求人情報等の雇用関係情報の提供							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	27	66	85	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計		0	27	66	85	0	
	執行額		-	18	56	-	-	
執行率(%)		-	67%	85%	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	平成27年度の長期療養者就職支援事業における支援対象者の就職率35%以上	就職率	成果実績	%	-	40	43.6	-
			目標値	%	-	25	30	35
			達成度	%	-	160%	145%	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	当該事業の支援対象者数		活動実績	件	-	120	479	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	X:就職支援ナビゲーターに係る謝金(千円) Y:就職件数(件)		単位当たりコスト	円	-	373,625	314,392	249,810
			計算式	X/Y	-	17,934千円/48件	37,727千円/120件	57,956千円/232件
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	58						
	職員旅費	1						
	委員等旅費	1						
	庁費	25						
	計	85	0					

事業所管部局による点検・改善					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、がん等により長期にわたる治療等が必要な疾病をもつ求職者に対して、専門的な支援を実施することで、その就職の実現を図ることを目的としており、国民の2人に1人ががんに罹る状況なども踏まえると、広く国民ニーズは高いものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、国が行うセーフティネットとしての職業紹介の一環として、がん患者等に対する就職支援を実施するものであり、加えて、まだ確立されていない、がん患者等への就職支援に関するノウハウ・知見の蓄積・構築を図ることを目的としていることから、現時点においては国が率先して実施すべきと考えられる。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、国が行うセーフティネットとしての職業紹介の取組の一環としてがん患者等の就職の実現を図ることを目的として実施しているものであり、雇用対策は喫緊の課題であることを踏まえると、優先度は高いものである。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	実施箇所数が増えているため経年での比較はできないが、長期療養者は、就職活動を行うにあたり、長期療養と仕事の両立など深刻な課題を抱えていることが多く、一般の求職者に比べて、綿密かつ定期的な支援が必要であることから、水準は妥当と考える。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	就職支援ナビゲーターに対する諸謝金など職業相談、職業紹介業務に必要なものに限定している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	主に、既存の備品等の活用により、庁費の執行が当初の見込みを下回ったため。		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	成果実績は目標以上の実績をあげている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込み以上の実績をあげている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	成果実績については目標値を上回り、活動実績も当初見込みを上回った。また、上記のとおり、点検結果に問題はなかったことから、引き続き事業の効率的な執行に努め、がん患者等の就職実現に向けた効果的な業務運営を行うこととする。			
	改善の方向性	今年度も昨年度における実施局を中心に支援事例やノウハウ等に関する情報・意見交換を行う交流会を開催する予定であり、長期療養者の就職支援に関する支援ノウハウや知見の更なる蓄積、普及を図ることで、効率的な業務執行に努める。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	新25-0029	平成26年度	482		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国

厚生労働省
56百万円



【予算示達】

A. 都道府県労働局(12箇所)
56百万円

就労支援ナビゲーターの配置など

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.			E.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	諸謝金	就職支援ナビゲーターの謝金				
	委員等旅費	就職支援ナビゲーターの事業所訪問等に 係る旅費	集計中			
	庁費	長期療養者職業相談窓口の運営に係る経 費				
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1			集計中		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					